

傘でのケガに注意しましょう！

梅雨シーズンの到来で、傘が活躍する機会が多くなってきました。傘の機能が充実する一方で、使い方や製品の状態によって思わぬ事故が起きています。

傘でこんな危険な経験が！

- 自動開閉式の折りたたみ傘をたたむ際に跳ね上がり、目に当たってケガをした。
- 子供用のジャンプ傘が、購入1週間で突然開くようになってしまった。
- 傘を広げて骨の部分に触ったら、金属粉が指に刺さった。
- 駅の階段で前の人が水平に持っている傘で胸を突かれた。

降雨時の身の回りの危険

～雨の日の事故防止ガイド～
ヒヤリ・ハットレポート No.7



東京都では、降雨時のヒヤリ・ハット体験や危険の実際を知りやすのためにインターネットアンケートを実施しました。
このガイドは、その結果からヒヤリ・ハット体験をもとに、事故防止のためのポイントをお知らせします。

東京都

・リーフレット「降雨時の身の回りの危険～雨の日の事故防止ガイド～」(ヒヤリ・ハットレポート No.7)も併せてお読みください。



事故防止のポイント！

- ★ ジャンプ式折りたたみ傘は、手元のボタンを押すと強い勢いで柄が飛び出すため、開閉するとき等には、顔から離して操作しましょう。また、たたまれた状態のときには、ちゃんとロックされているか確認しましょう。
 - ★ 比較的安価な傘の中には、部品の不具合や骨の造りが不十分なものも見受けられます。子供に使わせるとき等、気をつけましょう。
 - ★ 駅の階段等で水平に持った傘は、後ろの人の顔や胸をかすめる等、大変危険です。ただ傘を携行するときも、周囲に気を配りましょう。
- ※ 自転車の傘差し運転は、道路交通法、東京都道路交通規則等で禁止されています。絶対にやめましょう！